

D-Luxウィンドウの設置方法

D-Luxウィンドウを設置する際には、車内で隣接する部品、ケーブル、備え付けの棚、ルーフレール、その他の補強部品の機能を一切損なわない場所を選択してください。

D-Luxウィンドウを正しく設置するには、壁の内壁と外壁が平らな表面であることが必要条件です。

壁の損傷を防ぐために切り抜きは頑丈にしてください(例えば、木やチューブ状のフレームで補強するなど。これらの補強材は同梱されていません)。

D-Luxウィンドウの設置には25~47mmの壁厚が理想的です。

ウィンドウは様々なスナップブロックやカバーを使うことで壁厚に適合させています。ご注文いただいたウィンドウは、ご注文時にお聞きした壁厚に既に適合しています。

※注意 D-Luxウィンドウの不適切な設置については責任を負いかねます。

引き違い窓の右側及び左側が指定されている場合は、閉じた際にスライドする窓枠が前に来ることを確認してください。

1. 上記の条件を考慮して、車中にD-Luxウィンドウの取り付け位置を決めてください(切り取り寸法についてはドメティック製品情報ファイルの表をご参照ください)。
2. 外枠は(a) シール剤、または(b) 接着剤で取り付け可能です。

(a) シール剤

恒久的な可塑性シール剤を外枠全周(ゴムパッキンの補完可能なエリア)に塗ります。詳細はシール剤の製造業者にお問い合わせください。

(b) 接着剤

弾力性のある接着剤を外枠全周(外壁に接着出来る部分)に塗ります。詳細は接着剤の製造業者にお問い合わせください。

※注意 シール剤を付け過ぎると、取り付け用ブラケットは窓枠を壁に完全に引きつけることができず、またシール剤が少な過ぎると漏れの原因になります。ご使用時に適量をご判断いただくか、弊社の推奨品をご使用ください。

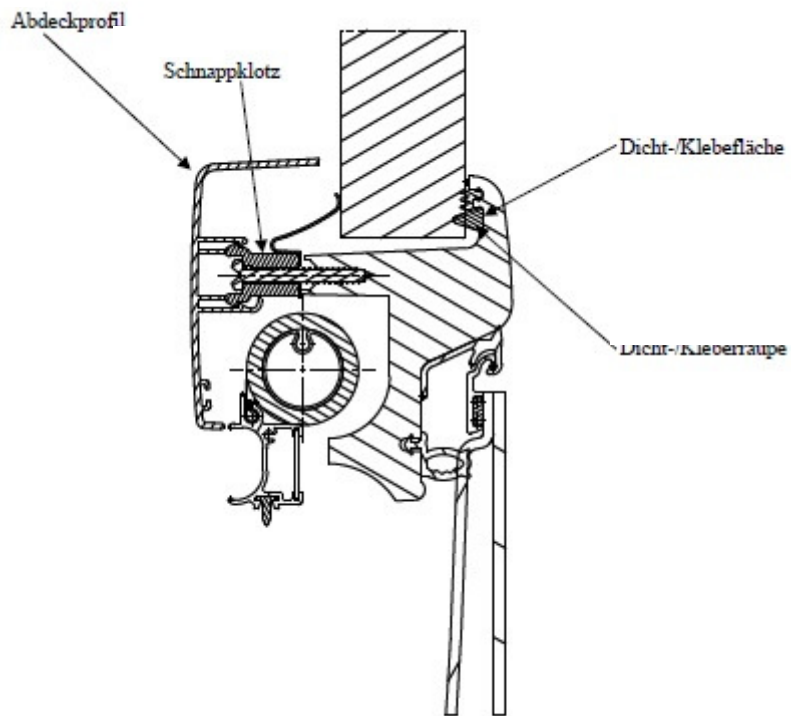
弊社の推奨品はSikaflex 252です

1. 壁に触れる部分にゴムパッキン用の縁がない窓をご注文ください。パッキン用の縁に使用されている接着剤が接着不良の原因になる可能性があるため、重要です。
2. 接着する表面を薄く削ってください。
3. 接着面をSika Cleaner 205で洗浄してください。
4. 接着面をSika Primer 210Tまたは215で下塗りしてください。

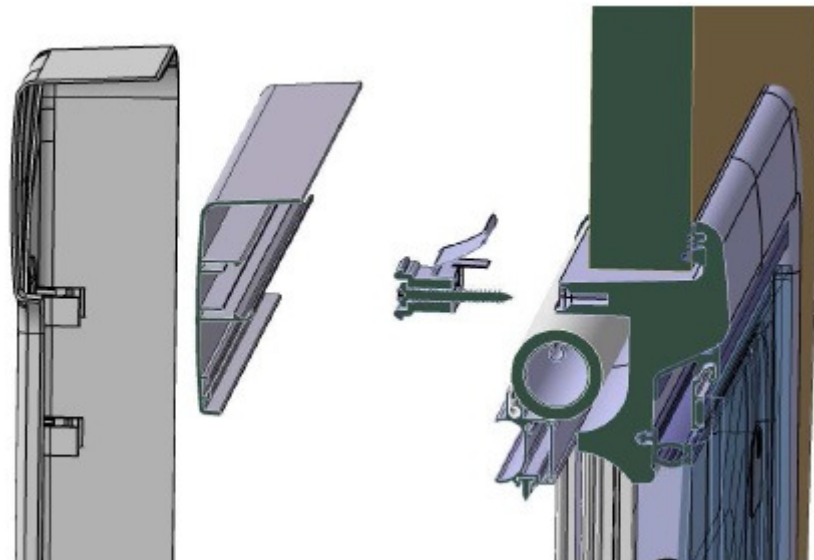
5. およそ6mm(幅)x 8mm(高さ)の三角の粒になるよう接着剤Sikaflex 252を塗ってください。
6. 余分な接着剤をSika Cleaner 208で取り除いてください。

※注意 上記の推奨品は窓枠側にのみ適用しています。車体側の接着方法及び接着特性または取り扱い方法は自動車メーカーによる確認が必要です。

3. 補助者は外側から外枠を所定の位置に据えてください。切り抜きまでの距離が全周にわたり均一で、枠が水平に正しく配置されていることを確認してください。
4. 内側から、スナップブロックをネジで固定して外枠を据え付けます。ネジは完全にねじ込まれ(最大トルク2.5Nm)、ブロックは真っ直ぐな位置に固定されていることを確認してください。
5. 内部カバーを上部と下部に留めて、丁寧に位置を決めてください。上部及び下部の内部カバーは壁から4~8mmの間を開ける必要があります(換気のため)。
6. 2つの側面カバーを所定の位置に留めてください。
7. ブラインドが正しく操作できることを確認してください。
8. アクリル板から保護フィルムを剥がしてください。



下図はD-Luxウィンドウを示しています。



D-Luxウィンドウの操作方法

※注意 出発前や車を離れる時は、必ず窓を閉めてください。**また、走行中に開閉しないで下さい。**

上吊り式窓の操作

窓を開けるには全てのトグル留め具を開けます。トグル留め具中央のボタンを押して90°回してください。これで窓枠は外側の好みの位置に旋回して開けられます。窓を閉めるには、窓枠をステーの摩擦に逆らって旋回させてください。最後にトグル留め具を再び90°回します。トグル留め具は窓を完全に閉めることと、窓を換気位置に固定することの両方に使用できます。**強い力をかけるとヒンジ部分が抜ける可能性がございます。窓の開閉は、ゆっくり操作して下さい。**

スライド式窓の操作

窓を開けるにはハンドルを握って窓枠を好みの位置にスライドさせてください。窓を閉めるにはハンドルが合わさるまで窓枠を完全に押し戻してください。

ブラインドの操作

必ずエンドバーの中央を持ってください。

両方のエンドバー（蠅除け及びブラインド）はどの位置にも自在に調整できます。2つのエンドバーは接触させて、虫から適切に保護してください。

お手入れ方法

アクリル板はSeitzアクリルクリーナーで清掃してください。

アクリル板のくすんだ点や軽いキズはSeitz Acrylic PolishとSeitz Special Polishing Clothで消えます。

ゴムパッキンはタルカム粉を使って定期的に（年4回）お手入れしてください。

ブラインドの清掃には水と中性洗剤のみ使用してください。

ブラインドを長時間閉じたままにしないでください。素材の疲労の原因になります。